



PTA新聞

5月号

発行所/福岡県PTA連合会
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50
福岡県吉塚合同庁舎5階
TEL092-643-7766 FAX092-643-7767
発行人/鬼頭 良典
編集/広報委員会

県P連ホームページアドレス
<https://fukuokaken-pta.jp>



第4回

「まなびのひろば」開催

2月8日、「今を見つめ、共に創る ～持続可能なPTA活動をめざして～」のスローガンのもと、第4回「まなびのひろば」が開催されました。お笑い芸人でエッセイストのにしおかすみこさんの講演の他、20周年を迎えた“新”家庭教育宣言実践報告、また小・中学校2校によるステージ発表もあり、拍手と笑いがいっぱいの1日となりました。

音楽と伝統芸能が彩るオープニング
にしおかすみこさんの爆笑&涙の講演も



講演するにしおかすみこさん(右)。明るく気さくなキャラクターとマシンガントークで会場を魅了しました。



直方市立直方第二中学校吹奏楽部の美しい音色で幕を開けた令和6年度の「まなびのひろば」。昭和の懐かしい曲から人気ロックバンドの曲まで、楽しいダンスと見事な演奏が披露され、開演早々、会場は興奮に包まれました。続く福津市立勝浦小学校は伝統芸能の「獅子舞」を発表。笛や太鼓のお囃子に合わせて獅子が舞う迫力



息のあった演奏やダンスを披露する直方第二中吹奏楽部

今年20周年を迎えた「新」家庭教育宣言実践報告では筑紫野市立二日市小PTAと那珂川市立那珂川中PTAの2校が発表。家庭と学校、地域が一体となって、楽しく子どもたちを育む取り組みの工夫



賑やかなお囃子と迫力ある獅子の舞を見せる勝浦小5・6年生の皆さん

が共有されました。基調講演では、女王様キャラで大ブレイクしたお笑い芸人でエッセイストのにしおかすみこさんが、おなじみの「にしおかすみこだよ」の声とともに登場。「認知症の母」「ダウン症の姉」「酔っ払いの父」といった「ポンコツ」な家族の一面を、たっぴりの愛情をこめて紹介。実家で介護をしながら家事も一身に背負う日々、「キレる」こともある「というリアルな苦労話から、ハプニング、自分自身のケアの仕方まで、ユーモアたっぷりに披露。息もつかせないマシンガントークで、会場は笑いと涙に包まれました。



5月号 もくじ

1面 ▶▶▶

第4回「まなびのひろば」
「新」家庭教育宣言実践報告レポート

2-3面 ▶▶▶

単Pが主役！PTA通信

4面 ▶▶▶

スポーツ交流会&
子ども体験学習事業レポート/
食べるってなあに

20周年!

“新”家庭教育宣言実践報告

みんなで通学路の安全を考えよう!

～家庭での会話から生まれた、地域ぐるみの見守りマップ～

●筑紫野市立二日市小学校PTA



二次元コードと連動し、危険箇所だけでなく正しい道路の渡り方などが動画で確認できる安全マップを作成。子どもたちが見なくなる、ユニークなマップが完成しました。

HUG☆KUMU

～紡ぎ合う那中プロジェクト～

●那珂川市立那珂川中学校PTA



学校、地域、生徒、PTA会員で協働し、さまざまな想いを育みながら交流をはかるイベント「e-Naフェスタ」を開催。「みんなで創る・楽しむ」をスローガンに、つながりを深めることができました。

家庭での子育て力向上を目指し、平成17年度から始まった“新”家庭教育宣言。20年にわたる事業・実践の積み重ねと共有は、家庭内での親子の関わり方において多くの気づきを生んでいます。

主役!! 通信



北九州 なかまっこバザー再開!!

中間市立中間小学校

中間市立中間小学校PTAでは、コロナ禍で長らく開催できなかったバザーを小規模ながらも再開することができました。現役員は全員バザー未経験者でしたが、令和6年度から設立したOB会のおかげで、多くの先輩方の協力を得ることができました。OB会の方々からは運営のコツや準備の段取りなど、貴重なアドバイスをたくさんいただきました。

午前中には「あそびのひろば」として、人気テレビ番組を模した「逃走中」イベントを実施しました。市内の高校・中学の運動部に声かけし、ハンター役として40名もの生徒が参加してくれました。子どもたちは大興奮の中、校庭を駆け回りました。保護者からも「子どもたちの生き生きとした表情が見られてうれしい」という声が多く聞かれました。

午後からははいよいよバザーを開催。手作りのおいしい料理が並び、当日券はあっという間に売りきれました。会場は保護者や地域の方々で大いに賑わいました。準備段階では不安でいっぱいでしたが、世代を超えた交流の場となり、PTAの絆が深まる素晴らしい1日となりました。

(中間小PTA会長 小嶋加奈子)



「逃走中」ルール説明の様子

京葉 仲津っ子、育成隊!!

行橋市立仲津中学校

仲津中学校は「ふるさと仲津を誇りに思う子どもの育成」を目指し、校区の仲津小学校と一小一中の環境を活かして毎年数多くの活動を行っています。

特に子どもたちの体験活動を重視しようと、地域の協力をいただき、毎年小中合同で田植え・稲刈りを行います。そして収穫したもち米を使って、中学3年生と小学6年生が卒業記念のもちつきを行います。稲作から加工して食べるまでを一連で学べる恒例行事です。

この行事は先生・保護者・地域の方が多く参加され、子どもたちとの交流も深まる重要なPTA活動でもあります。昨年度は田植え後にはかき氷、稲刈り後にはフランクフルトを作り、子どもも大人も盛り上がる楽しい活動となりました。

今後も「仲津っ子は仲津で育てる」を合

言葉に、PTA活動で地域と学校、保護者の連携を深め、子どもたちが、ふるさと仲津を好きになるような活動を続けていきます!

(仲津中PTA会長 木村和宏)



小中合同田植えの様子



田植え後のかき氷

筑豊 香春のお米で「おにぎりぱん」

香春町立香春思永館

香春思永館は、香春町にあった4小学校と2中学校がひとつになった義務教育学校で、町内の子どもたちが通う香春町ではただひとつの学校です。

町内には当時使用していた校舎が残されており、すでに活用されている学校や、これから活用する学校もあります。

中でも「コミュニティセンター採do所」は2年前に立ち上がり、旧採銅所小学校で地域の方と子どもたちが一緒に楽しめる

催しがたくさん行われています。

12月に行われたPTA主催の「親子料理教室」は施設内の元家庭科室で行い、2部制にするほどの盛況ぶりでした。

料理教室は地域の方を講師としてお招きして、食育のお話とともに、地元のお米で作る「おにぎりぱん」を作りました。芳ばしい香りとともに、施設内に子どもたちの声が響く楽しいひとときを過ごしました。

今後も地域の方とともにPTA活動ができるよう、協力を深めていきたいと思います。

(香春思永館PTA会長 岩谷裕子)



親子料理教室の様子

福岡

ふれあい標語

がくぎょういん
太宰府市立学業院中学校

学業院中学校では、PTA活動の一環として「あいさつ運動」に取り組み、子どもたちの健全育成に努めてきました。令和6年度で26年目となり、この運動を通じて、毎日のあいさつが心の温かさを育む一助となっていることを私自身、心から実感しています。

しかし、コロナ禍の影響で、私たちの生活様式は大きく変化しました。それに伴い、子どもたちも人とのコミュニケーションの希薄さを日々実感し、距離を取ることが求められてきました。

人は他者とのつながりの中で学び、成長していきます。そこで、令和6年度は人と人のふれあいをテーマにした「ふれあい標語」を募集し、広く、地域の方や保護者からも応募いただきました。選ばれた標語は校区内に看板として設置されました。

地域の皆さまと協力し、さまざまな活動を通じて、子どもたちに「ふれあい」の大切さを伝えていきたいと思います。この活動を通じて、地域全体が一層温かいコミュニティとなることを願っています。

(学業院中PTA会長 森本 節)



令和6年度選出のふれあい標語

北筑後

子どもたちの笑顔のために

あきづき
朝倉市立秋月小学校

秋月小学校は、秋月藩成立400年を迎えた筑前の小京都・秋月の城下町にある、山に囲まれた小規模の学校です。学校の運動場には「観音山」とよばれる山が隣接し、虫取りや草スキーをして楽しむことができます。しかし、児童数の減少に伴い、PTA会員数も減少していることから、令和5年度にPTA組織改編を行い、令和6年度から新しい組織でPTA活動をスタートさせました。同時にPTAボランティア組織も立ち上げました。

令和6年度は、学年委員会、広報委員会、保健環境委員会、地方委員会それぞれが、活動内容は変えずに方法を工夫することで充実した活動を行うことができました。また、PTAボランティアで、新たに「5年生の稲作体験」のサポートを始め、子どもたちや保護者に喜んでもらえました。

これからも、子どもたちの笑顔のために、平成19年につくられた「保護者心得6箇条」の伝統を守るとともに、家庭、学校、地域が連携し、よりよいあり方へ改善しながらPTA活動の充実を目指していきたいと思っています。

(秋月小PTA会長 久我尚史)



泥だらけになりながら、みんなで列になって田植えを行いました

実った稲穂を刈り取り、収穫の喜びを味わいました

南筑後

下妻ふれあい体験活動

しもつま
筑後市立下妻小学校

古くから農業が盛んな筑後平野に下妻小学校があります。そんな特徴を活かし、ふれあい体験活動として「種まき→田植え→収穫→しめ縄作り」を学校、保護者、地域の方々と一緒に行っています。

5月、農業支援コーディネーターの方に来てもらい、種まきを行いました。毎日4・5・6年生が交代で水やりし、育てていきます。6月の田植えでは、上級生と下級生がペアとなり、協力して丁寧に苗を植えました。田植えの後は、ドロリンピック、「ど

ろんこフラッグ」と「どろんこそりりレー」を楽しみました。

植えた苗は順調に育ち、10月に収穫、12月にはしめ縄作りを行いました。学校、保護者、地域で支えあい、素敵なしめ縄が完成しました。

令和6年度をもって下妻小は134年の歴史に幕を閉じましたが、この活動は、子どもたちにとっても、保護者にとっても、良い思い出になりました。

(下妻小PTA会長 井口和也)



しめ縄作りの風景



令和6年度 スポーツ交流会 & 子ども体験学習事業

最後まで諦めない！ 白熱のスポーツ大会

2月22日、令和6年度も嘉穂総合体育館でソフトバレーボール大会が開催されました。福岡、北筑後、南筑後、北九州、筑豊、京築の6ブロックから計18チーム・153名が参加しました。どの試合も激戦で、好プレーの連続！ それぞれにチームワークの良さを発揮し、応援席からも歓声が飛び交いました。

接戦の中、勝ち抜いて優勝旗を手にしたのは「りまっぴー黒田」チーム（京築）。念願の4連覇を成し遂げました。また、令和5年度に続いて準優勝となった「久保小・勝山中」チーム（京築）にも大きな拍手が送られました。

選手も応援席も一体となって盛り上がり、スポーツを通してぐっと交流が深まった1日となりました。



ナイスファイ!

「反撃だ!」

留学生と交流して、 楽しく異文化を学ぶ!

同時開催!

スポーツ交流会と同時開催で、初の試みとして「子ども体験学習事業」を実施。「一般社団法人 学びにSPARKを」が企画運営を行い、子どもたちが留学生と触れ合いながら異文化について学べるイベントで、福岡県内の小・中学生63名が参加しました。

ミャンマー、インド、ウズベキスタンの3つの国のブースに分かれ、子どもたちが興味のある国を訪問。留学生コーチに質問して日本との違いや共通点を探したり、言語、文化について学んだり。その後、気づきや学びを絵や言葉でまとめて、みんなの前でプレゼンテーション。留学生コーチから学んだ現地の言葉も交えながら堂々と発表する子どもたちに、スタッフや保護者から温かい拍手が送られました。



ミャンマーの国旗はね...



ドキドキ、発表がんばるぞ!



クイズやゲーム、風船バレー大会も



山際千津枝の

— マングースの独り言 — Vol.127

食べるってなあに

教養って…。



テレビの中でキリッと美しい女性がインタビューに答えています。彼女の職業はヘッドハンター。世界中から管理職や社長候補を探して企業に紹介する仕事なのだそう。

「採用の決め手はなんですか」とインタビュアー。「経歴、実績はもちろん大切ですが、最終的に大事なのがその人の教養です」

教養かぁ、そういえば以前、青少年の更生施設に勤めていた方が「規律や決まりを守る習慣を身につけることも大切だけど、教養の芽を手に入れた若者は必ず更生して社会に適応していきます」とおっしゃいました。

ところで「教養」。この言葉の本当の意味はなんでしょう。読書、クラシック音楽を聴く…うーん、そんなことでもないような気がしますね。AIチャットくん聞いてみましょう。

「教養とは幅広い知識や文化、倫理観をもち、他者とのコミュニケーションや社会生活を豊かにする力です。さまざまな経験や学びを通じて形成され、人間性や視野を広げる要素として重要です。単なる知識の蓄積ではなく、思考や行動に深みを与えます」。なるほど。そうであるならば「教養」は生きる上での力強い友になりそうです。

人から投げられた心ない言葉、そのまま受け取ってただ傷つくだ

けなのは悲しいでしょ。その言葉のもつ意味、その時の状況、相手の立場を分析できれば、言葉は意味を失います。教養が防御の力になるのです。困難に見舞われた時も教養という心の余裕がそのことに向き合う力にもなるはず。学校の勉強ももちろん大切ですが、子どもさんが興味をもったことを見守ってください。ときには目をつぶってください。私の子どもの頃の興味は漫画と空想でした。親から見ると漫画ばかり読んであとはボーッとしている心配な子だったと思います。漫画が読書へ、空想がイメージトレーニングする習慣になったのはずっと後のことでした。

最後におすすめの本があります。『^{がんじゅつぎ}眼述記』(高倉美恵著・忘羊社・1750円)。新聞記者の夫君が49歳で脳梗塞に倒れ全身麻痺になり、看病の最中に妻も2度のがんにかかりながらの10年にわたる介護録…こう書くだけでこちらも絶望的になりそうな本ですが、なぜか笑いながら読み終えました。ごめんなさいね。読みながら自分の心が柔らかくなるというおまけもいただきました。この状況で、なぜ希望を失わなかったのか。読んでいただければ、高倉美恵さんと夫君である矢部明洋氏の教養の力に納得をされるでしょう。そして教養の行き着く先はユーモアであることにも。

小・中学生総合保障制度ご案内 [こども総合保険]

たくさんの安心で大切なお子さまの成長をサポートします



賠償補償

お友達にケガをさせる



自転車事故



身体の補償

通学中のケガ



日常生活のケガ



育英費用補償

扶養者が事故で



重度の後遺障害

補償内容を動画でcheck



スマホで簡単手続き！お申込みはコチラ



■制度に関するお問合せ先(取扱代理店) 株式会社コーリン(福岡県PTA連合会 保障制度事務局) 0120-228-553 受付時間/平日 午前9:00~午後5:00

〒810-0022 福岡市中央区薬院4丁目3-5 セルス薬院5F <https://www.pta-corin.com/>

90-010(2026-02)

■引受保険会社(幹事会社) AIG損保(非幹事会社) 東京海上日動、損保ジャパン、三井住友海上、CHUBB ○この広告は「小・中学生総合保障制度(こども総合保険)」の概要についてお伝えしています。ご加入の際は必ずパンフレット及び重要事項説明書をご覧ください。